

# マテリアル環境工学概論 (MA3501L1)

担当教員：星野 岳穂 特任教授，醍醐 市朗 特任准教授

対象：第3学年

単位数：2.0

バイオ

環境・基盤

ナノ・機能

標準

標準

標準

実施時期：S1S2 セメスター 水曜日 6 時限

場所：工学部 1 号館 1 5 号室

## 講義目的

環境は化学物質、廃棄物、気候変動、生態系など広い側面をもち、経済社会と工学の接点にある。よって環境は、多元的で背反する要請を調和させつつ対策の構築をめざす分野でもある。本講義は環境講演会において学術、行政、産業、ベンチャーの専門家がオムニバス形式で講義する。

## 講義項目

- ・マテリアル工学科講義（学科内）
  - ・環境講演会（工学部共通）
- 1) 川崎市の環境施策と今後の方向性について－環境、経済、社会の統合を目指して－
  - 2) 国際的視点から見た環境ビジネスと我が国の現状
  - 3) どれだけ安全なら十分に安全か？－化学物質、事故、災害のリスク評価研究から考える－
  - 4) 環境政策の現状と今後（環境省審議官）
  - 5) 気候変動の現状と「卒炭素」への道
  - 6) 鉄鋼業を取り巻く経営環境と当社の研究開発
  - 7) エネルギー選択と政策の役割－再生可能エネルギーの導入策を中心に－
  - 8) 異分野の原料から新機能材料を創る－植物（トチュウ（杜仲））からのバイオポリマーの市場化－
  - 9) 環境・経済・社会の課題を同時解決  
ほか2回

## 理解すべき事項

種々の分野における環境問題の概要と対策技術、マテリアル工学の位置づけと経済社会との関わりなど。

## 関連する講義

並行履修：マテリアル工学倫理

事後履修：マテリアル環境学

参考書（テキスト）：適宜資料配付

講義ノートのリンク先：

成績評価：環境講演会への出席とレポート、マテリアル工学科講義の出席とレポートの評価

備考